実施状況調査報告書（スポーツ振興基金助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	一般社団法人日本カバディ協会
活動細目名	競技会開催（スポーツ普及活動）
活動名	第 35 回全日本カバディ選手権大会
助成金額	1,120,000 円

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成（競技会開催）で一般社団法人日本カバディ協会が行っている「第 35 回全日本カバディ選手権大会」の実施状況について調査を行いました。

カバディとは、「鬼ごっこ」と「ドッジボール」を融合したような独自のルールを持つ競技であり、インド、パキスタン、バングラデシュなど南アジア諸国で数千年の歴史を持つ、伝統ある国技として親しまれてきたスポーツです。$

本大会は、令和 7 年 11 月 29 日（土）から 11 月 30 日（日）の 2 日間にわたり開催され、男子 28 チーム、女子 5 チーム、総計 301 名の選手が参加し各チームによる力強い試合が見られました。

■助成の意義

くじ助成を活用することで、国際大会に出場する日本代表選手選考会を兼ねた本大会の規模を縮小することなく開催することができ、その結果、参加選手にとって実力を正確に評価される貴重な機会となり、選考の公平性と大会の質の向上に大きく寄与したそうです。また、大会運営に必要なスタッフを十分に確保し、運営体制を整えることができたとのことでした。安全対策としては、会場への AED の設置に加え、本部に救護員を 2 名常駐させるなど、万全の体制で安全かつ円滑な大会運営を実現することができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

ホームページや SNS を通じて大会情報の発信を定期的に行うとともに、公式サイトでは YouTube 配信も実施されました。また、大会終了後には参加者にアンケートを実施し、寄せられた意見や要望を次回大会に反映することで、今後の大会運営に活かしているそうです。さらに、今回の会場である国際オリンピック記念青少年総合センター大体育室での競技開催にあたっては、競技者と観客との境界に柵を設置するとともに、観客席を設けるなど、安全面と観戦環境の両立を図る工夫をされたとのことでした。

■所感

高校生から社会人まで年齢層の異なる選手たちが熱意を持ってプレーしている様子を、間近で確認することができました。今大会は 2026 年愛知・名古屋アジア大会の日本代表の選考を兼ねていることもあり、選手の皆さんが高いモチベーションで真剣に試合に取り組む姿勢が印象的でした。

カバディを題材にした漫画の連載やアニメの放送の影響から、カバディ愛好者が増加していると聞いています。このカバディ愛好者が目指すことのできる大会としても、本大会を継続して開催することで、今後も競技の更なる発展および普及が進むことを期待しております。

（令和 7 年 11 月 29 日往査）

（写真）第 35 回全日本カバディ選手権大会



